

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

令和5年度

自 令和5年4月1日 事業計画
至 令和6年3月31日

令和6年度

自 令和6年4月1日 暫定事業計画
至 令和6年6月30日

一般社団法人
日本弗素樹脂工業会

目 次

1. 会員名一覧表	1
2. 事業組織	2
3. 会員及び役員	3
4. 委員会及び事務局	4
5. 事業活動状況	5
5-1 集会等の総括	5
5-2 会議	6
・総会	6
・理事会	7
・会務委員会	11
・業務委員会	12
・主要会議等スケジュール(実績)	29
6. ふっ素樹脂統計	30
7. 令和5年度事業計画	32
8. 令和6年度(4～6月)暫定事業計画	34

1. 会 員 名 一 覧 表

令和5年3月現在

正会員（ふっ素樹脂加工関係）：22社

会 社 名	会 社 名
有限会社飯田製作所	日建塗装工業株式会社
池田テクノコート株式会社	ニッシンコーポレーション株式会社
イワキコーティング工業株式会社	日星電気株式会社
株式会社大野社	日本ピラー工業株式会社
株式会社喜多村	日本フッソ工業株式会社
光洋化学株式会社	株式会社バルカー
スターライト工業株式会社	株式会社フロロコート
中興化成工業株式会社	明興工業株式会社
東邦化成株式会社	株式会社陽和
ニチアス株式会社	株式会社吉田SKT
NiKKi Fron株式会社	淀川ヒューテック株式会社

協力会員（ふっ素樹脂製造関係）：4社

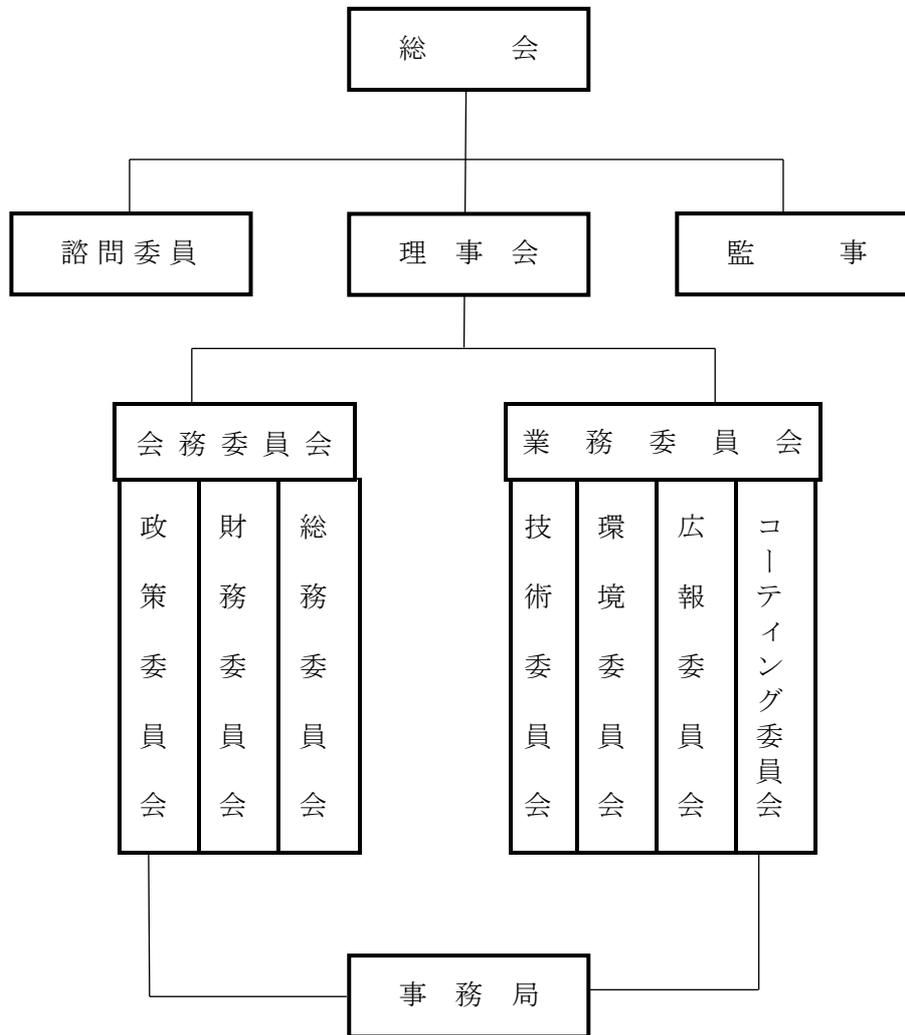
会 社 名	会 社 名
A G C 株 式 会 社	ダイキン工業株式会社
株 式 会 社 ク レ ハ	三井・ケマーズフロプロダクツ株式会社

賛助会員：25社

会 社 名	会 社 名
アルケマ株式会社	田端機械工業株式会社
株式会社NCポリマー	株式会社テクノス
MC山三ポリマーズ株式会社	デュポン・スペシャルティ・プロダクツ株式会社
オー・エス・イー株式会社	株式会社天源
株式会社極東商会	ナガセエレクトクス株式会社
ケマーズ株式会社	株式会社ナクロ
幸成商事株式会社	日栄テック株式会社
C B C 株 式 会 社	古川貿易株式会社
株式会社G S Iクレオス	有限会社丸新石油化学
住友商事ケミカル株式会社	三井物産株式会社
スリーエムジャパン株式会社	三井物産プラスチック株式会社
ソルバイススペシャルティポリマーズジャパン株式会社	三福工業株式会社
大日精化工業株式会社	

2. 事業組織

令和5年3月現在



3. 会 員 及 び 役 員

令和5年3月現在

会 員

会員の種類	会員会社数
正 会 員	22 社
協 力 会 員	4 社
賛 助 会 員	25 社
計	51 社

役 員

役 員	会 社 名	氏 名	代 理
会 長	日本ピラー工業株式会社	岩 波 清 久	駒 口 大 造
副 会 長	株 式 会 社 陽 和	越 出 理 隆	山 田 恭 嗣
〃	淀川ヒューテック株式会社	小 川 克 己	福 本 広 伸
理 事	株 式 会 社 大 野 社	大 野 光 夫	
〃	スターライト工業株式会社	西 郷 隆 志	
〃	NiKKi Fron 株式会社	春 日 孝 之	
〃	日 星 電 気 株 式 会 社	桐 野 英 彦	木 下 一 秀
〃	ニチアス株式会社	亀 津 克 己	美 濃 部 智
監 事	中興化成工業株式会社	庄 野 直 之	原 礼 司
〃	株式会社フロロコート	諏 訪 部 充 弘	相 沢 哲 夫
専務理事	一般社団法人日本弗素樹脂工業会	清 水 潔	

4. 委員会及び事務局

委員会

区分	委員会名称	委員長		委員数
		会社名	氏名	
会務委員会	政策委員会	日本ピラー工業株式会社	駒口大造	10
	財務委員会	淀川ヒューテック株式会社	福本広伸	6
	総務委員会	株式会社陽和	山田恭嗣	5
業務委員会	技術委員会	日本ピラー工業株式会社	宮本正樹	11
	環境委員会	ニチアス株式会社	戸塚優子	13
	広報委員会	ニチアス株式会社	田中律	7
	コーティング委員会	日建塗装工業株式会社	鈴木平八郎	7

各委員会及び委員会社名

(五十音順)

委員会名称	委員会社
政策委員会	大野社、スターライト工業、中興化成工業、NiKKi Fron、ニチアス、日星電気、日本ピラー工業、フロロコート、陽和、淀川ヒューテック
財務委員会	スターライト工業、中興化成工業、ニチアス、日本ピラー工業、フロロコート、淀川ヒューテック
総務委員会	大野社、中興化成工業、フロロコート、陽和、淀川ヒューテック
技術委員会	AGC、大野社、クレハ、スターライト工業、ダイキン工業、中興化成工業、ニチアス、日本ピラー工業、バルカー、三井・ケマーズフロロプロダクツ、淀川ヒューテック
環境委員会	AGC、喜多村、クレハ、ダイキン工業、中興化成工業、ニチアス、日建塗装工業、日本ピラー工業、日本フッソ工業、バルカー、フロロコート、三井・ケマーズフロロプロダクツ、淀川ヒューテック
広報委員会	スターライト工業、東邦化成、中興化成工業、ニチアス、日星電気、NiKKi Fron、飯田製作所
コーティング委員会	池田テクノコート、イワキコーティング工業、東邦化成、日建塗装工業、日本フッソ工業、フロロコート、吉田SKT

工業会・事務局

総括 清水 潔
 経理及び庶務 野口 時代

5. 事業活動状況

5-1 集会等の総括

集 会 等 の 名 称	回 数	出席者数 (延べ人数)
定時社員総会	1	21
臨時社員総会（書面審議）	1	
理事会	2	33
臨時社員総会（書面審議）	1	
会務委員会		
政 策 委 員 会	2	33
財 務 委 員 会	2	11
総 務 委 員 会	2	10
業務委員会		
技 術 委 員 会	5	51
環 境 委 員 会	6	70
広 報 委 員 会	4	24
コーティング委員会	2	14
その他の会議		
プラスチック加工懇談会（日本プラスチック工業連盟 内）	12	—
その他の活動		
第 88 回ふっ素樹脂講習会	1	91
第 89 回ふっ素樹脂講習会	1	111
ふっ素樹脂 NEWS（会報） 4 回発行	4	—

5-2 会 議

〔総 会〕

○定時社員総会

第54回定時社員総会は、令和4年6月8日「如水会館 松風の間」(東京都千代田)において開催した。

定刻、山田総務委員長から、定款第14条の規定に基づき総会の開催を宣言した。また、本総会は、議決権を有する正会員22社のうち、16社出席、委任状を提出された会員が6社、計22社となり、定款第18条第1項に規定する総会の議決をするための定足数を満たしており、本総会は、有効に成立していることを報告。

以降、岩波会長が議長になり、挨拶を述べた後、提出されている議案の審議に入った。

第1号議案 事業報告ならびに事業計画について

清水専務理事から工業会の概要等の説明があった。続いて、駒口政策委員長から、令和3年度の工業会事業のうち主要会議の実施状況等の報告があり、続いて令和4年度の工業会全体の事業計画の説明があり、加えて、令和5年度4～6月暫定事業計画について説明があった。以降、順次各業務委員会委員長から令和3年度活動報告及び令和4年度活動計画の説明があった。

岩波議長が、質疑及び意見を求めたところ、全員が異議なく賛成したので、承認された。

第2号議案 決算報告ならびに収支予算について

福本財務委員長から令和3年度収支決算の説明があった。

続いて、諏訪部監事から本決算の会計監査の結果について、適正かつ妥当であることの報告があり、また、各口座名義、及び、事務所賃貸契約、他、資金、資産の『一般社団法人 日本弗素樹脂工業会』への移行が完了している事を確認した旨の報告があった。

続いて、福本財務委員長から令和4年度収支決算及び令和5年度4～6月暫定収支予算の説明があった。

岩波議長が、質疑及び意見を求めたところ、全員が異議なく賛成したので、承認された。

以上、第54回定時社員総会に提出された議案は、全て承認された。

その他 新入会員の紹介について岩波議長から、株式会社バルカーについて、当工業会の趣旨のご賛同の上、入会申込書の提出があり、去る5月17日の理事会において入会が承認され、6月1日から当工業会の正会員となった旨紹介があった。これを受け、株式会社バルカー本坊代表取締役社長から挨拶があった。

次に岩波議長から、本日出席のニチアス武井理事におかれては、6月29日付で退任の申し出があり、本日の総会が、最終の出席となる旨報告があり、長い間、当工業会の役員としてのご尽力に感謝の詞を述べた。これを受け、武井理事から、謝辞が述べられた。

山田総務委員長が12：00に閉会宣言をし、第54回定時社員総会は、終了した。

○令和4年7月28日臨時社員総会（書面審議）

1. 書面審議とした経緯

新型コロナウイルスの感染拡大の防止に関しては、政府から国民及び事業者等へ向け様々な要請がなされている状況である。

かかる状況下、会員企業から社内人事異動に伴い当工業会役員（理事）交代の申し出があった。

当工業会役員（理事）の選任については、定款第23条第1項の規定に基づき社員総会の決議が必要となっている。

このため、上記状況に鑑み、臨時理事会の審議（書面審議）の結果、今回の総会は、会員を一堂に会して開催することを見送り、臨時社員総会について書面審議により実施することとなった。

このため、7月14日付け文書で、書面審議について会員へ通知し、回答期限を7月28日までとした。

2. 書面審議の議案

第1号議案 第1号議案「役員（理事）の選任について」

【退任理事】 現 職

武井 俊之 氏 ニチアス株式会社最高顧問

西郷 隆暁 氏 スターライト工業株式会社代表取締役会長

【後任理事】 現 職

亀津 克己 氏 ニチアス株式会社代表取締役社長

西郷 隆志 氏 スターライト工業株式会社代表取締役社長

3. 配布資料

臨時社員総会の議案についての説明

4. 審議期間

令和4年7月14日～7月28日

5. 書面審議結果

議決権を有する正会員22社へ、議案の説明文を添付し、承認の賛否を7月28日までに回答をお願いしたところ、正会員全22社から議案について賛成する旨の回答があったので、一般法人法第58条第1項及び定款第20条第1項の規定に基づき社員総会の決議があったものとみなされた。

その結果について、8月1日全会員へ通知した。

〔理 事 会〕

令和4年5月17日、7月13日（書面審議）及び11月1日に開催した。

(第1回) 令和4年5月17日

岩波会長が議長となり会議を主宰した。

定刻、駒口政策委員長が開会を宣し、理事、監事及び委員長各位に対して謝辞を述べた後、定款第32条の規定により会長が議長に当たることになっている旨を述べ、定足数の確認を専務理事に求めた。清水専務理事は、理事会構成員全員の出席があり、定款第33条に規定する理事会の議決をするための定足数を満たしており、本理事会は、有効に成立している旨を述べた。

議事に入る前に、岩波会長から参加各位への謝辞及び理事会開会の挨拶があった。

(1) 第1号議案 「第54回定時社員総会提出資料の審議について」

審議に入る前に、宮本技術委員長代理、戸塚環境委員長、田中広報委員長、後閑コーティング委員長が順に配布資料の業務委員会活動報告外を基に各委員会の令和3年度活動報告と令和4年度活動計画案を説明した。

① 事業報告書(案)の検討

清水専務理事から配布資料の令和3年度事業報告書(案)を基に、工業会の概要、ふっ素樹脂統計、令和4年度事業計画及び令和5年度(4～6月)暫定事業計画他の説明があった。

② 決算報告書(案)の検討

福本財務委員長から配布資料の令和3年度決算報告書(案)を基に、令和3年度収支計算書、令和4年度収支予算書及び令和5年度(4～6月)暫定収支予算書について詳細に説明があった。

議長は、本議案を参加各位に諮ったところ、全員が異議なく賛成したので、承認された。

(2) 第2号議案 「その他 新入会員の審議について」

審議に入る前に、山田総務委員長から、株式会社バルカーの入会申込みに係る経緯、また、本件に係る総務委員会の審査状況の説明があった。

議長は、本議案を参加各位に諮ったところ、全員が異議なく賛成したので、承認された。

(3) 第2号議案 「その他 業務委員長の交代について」

審議に入る前に、清水専務理事から、技術委員長(日本ピラー工業(株) 藤井 睦 氏⇒日本ピラー工業(株)宮本正樹氏)及びコーティング委員長(株)フロロコート 後閑昭男氏⇒日建塗装工業(株)鈴木平八郎氏)の交代案について説明があった。

議長は、本議案を参加各位に諮ったところ、全員が異議なく賛成したので、承認された。

(4) 第2号議案 「その他 令和4年度収支予算書及び令和5年度(4～6月)暫定収支予算書の修正について」

審議に入る前に、清水専務理事から、第1号議案で承認された令和4年度収支予算及び令和5年度(4～6月)暫定収支予算について、第2号議案、新入会委員の承認に伴い会費収入の増額等、修正案の説明があった。

議長は、本議案を参加各位に諮ったところ、全員が異議なく賛成したので、承認された。

全ての議事終了後、清水専務理事から、来る6月8日開催予定の定時社員総会の参加状況等について報告があった。

また、議長から、本日が最後の理事会出席となる武井理事に対し、感謝の詞があり、これに対し、武井理事から謝辞があった。

以上で議事が終了したので、岩波議長は、14時30分に閉会の宣言をした。

(第2回) 令和4年7月13日(書面審議)

1. 書面審議とした経緯

新型コロナウイルスの感染拡大の防止に関しては、引続き政府からの要請等を受け対応しているところである。

かかる状況下、今般、当工業会の総務委員長及び環境委員長において、所属会社の人事異動に伴い退任の申出があったので、後任委員長の選任について理事会での審議が必要となった。

については、新型コロナ禍の現状から、今回の理事会は、理事を一堂に会して開催することを見送り、当該二議案の審議を書面にて諮ることとなった。

このため、7月20日に上記の事情により書面審議の文書を各理事に発出し、回答期限を7月30日までとした。

2. 書面審議の議案

第1号議案：総務委員長及び環境委員長変更の承認について

第2号議案：PFAS協議会の設置について(報告事項)

3. 配布資料

理事会議案についての説明

4. 審議期間

令和3年7月20日～7月30日

5. 書面審議結果

議決権を有する理事11名へ、二議案の説明文を添付し承認の賛否及び報告事項の確認を7月30日までに回答をお願いしたところ、7月26日までに全理事から第一号議案について賛成する旨、第二号議案について報告事項を確認した旨の回答があったので、定款第33条の規定に基づく賛成多数(全会一致)で議案が承認された。

その結果を、7月28日を全理事に対しメールで通知した。

(第3回) 令和4年11月1日

岩波会長が議長となり会議を主宰した。

駒口政策委員長が開会を宣し、理事、監事及び委員長各位に対して謝辞を述べる。続いて、理事会は、定款第32条の規定により会長が議長に当たることになっている旨を述べ、清水専務理事へ定足数の確認を求めた。

清水専務理事から、定足数について、理事会構成員全員の出席があり、定款第33条に規定する理事会の議決をするための定足数を満たしており、本理事会は、有効に成立している旨を述べた。

議事に入る前に、岩波会長から参加各位への謝辞及び理事会開会の挨拶があった。

また、岩波会長から新任理事の紹介があり、亀津理事及び西郷理事から挨拶があった。

(1) 議題第1号「令和4年度上期事業報告及び下期事業計画について」

福本財務委員長から資料1「令和4年収支決算見込み」を基に、9月までの収支予算の執行状況及び令和4年収支決算見込を説明した。

続いて、宮本技術委員長、戸塚環境委員長、田中広報委員長及びコーティング委員長代理の清水専務理事から資料2を基に順に各委員会の令和4年度上期活動報告と下期活動計画について説明があった。岩波議長は、議題第1号について参加各位に質問及び意見があるかを諮ったところ、全員が異議なく賛成したので承認された。

(2) 議題第2号「その他①」

清水専務理事から、「一般社団法人日本弗素樹脂工業会細則の改定案」について、今年の当工業会の一般社団法人化に伴い、事業年度の変更、ふっ素樹脂出荷額統計の調査期間変更を行ってきた経緯等の説明があり、これに伴う細則の改定案の説明があった。

岩波議長は、本議案について参加各位に質問及び意見があるかを諮ったところ、全員が異議なく賛成したので承認された。

(3) 議題第2号「その他②」

清水専務理事から、「模倣品情報交換委員会の廃止案」について、同委員会の発足時の経緯、その後の活動状況及び現在の活動状況（休眠状況）等について説明があり、同委員会の廃止について提案があった。なお、今後、改めて模倣品問題が顕在化した際には機動的に再設置することを付言する。

岩波議長は、本議案について参加各位に質問及び意見があるかを諮ったところ、全員が異議なく賛成したので承認された。

(4) 議題第2号「その他③」

岩波議長から、清水専務理事の任期については工業会細則により規定されており、任期2年毎の再任であるが毎年の理事会で決定することとなっている旨説明があった。

来年3月までの理事会で来年度（2023年度）の再任の決定をするところ、理事会開催のスケジュール等を勘案し、本理事会で再任の審議を提案したい旨説明があった。

岩波議長は、本議案について参加各位に質問及び意見があるかを諮ったところ、全員が異

議なく賛成したので承認された。

以上で議事が終了したので、岩波議長は、14時30分に閉会の宣言をした。

〔会 務 委 員 会〕

1. 政策委員会

令和4年5月17日、7月13日（書面審議）及び11月1日に開催した。

議事について、理事会と同時開催のため前掲のとおり。

・PFAS協議会

令和5年3月7日、第1回PFAS協議会を工業会会議室で開催した。

日本フルオロケミカルプロダクツ協議会（FCJ）から、令和5年2月7日、欧州化学品庁より公表されたPFAS規制案の内容についてその概要を説明いただき、その後、質疑応答を行った。

3月17日、PFAS協議会主催正会員向け、WEBによる欧州規制案概要説明会を開催し、今後のパブコメ対応等の必要性について説明を行った（正会員各社から約70名が参加した。）。

2. 財務委員会

令和4年5月9日、10月11日に開催した。

（第1回）令和4年5月9日

議事

（1）第54回定時社員総会提案資料として令和3年度決算報告書(案)を検討し、作成した。

①令和3年度決算を確認し、財務諸表(案)を作成した。

②令和4年度収支予算案及び令和5年度暫定（4～6月）3支予算案を検討し、作成した。

（2）令和4年度収支予算案及び令和5年度暫定収支予算案作成に関し、実態に即した収支を計上の上、収支残を予備費として計上した。

また、前年度繰越額は全額を次期繰越額とした。

（第2回）令和4年10月11日

議事

（1）令和4年度収支状況について

清水専務理事から令和4年4月から令和4年9月までの収支実績及び10月以降の収支見込みについて、増減の要因等詳細な説明があった。また、コロナ禍での予算執行上の影響等について意見交換するとともに、剰余金の状況・あり方等について意見交換した。

（2）細則の一部改正について

細則の見直しについて、工業会の事業期間の変更（1月から12月⇒4月から3月）に伴い、ふっ素樹脂出荷額統計の調査期間を見直したため、これに伴い、細則第一条（通常会費）の条文の一部を見直すため、審議を行い、所要の改正を行うことと了承された。

3. 総務委員会

令和4年4月18日、6月20日に開催した。

（第1回）令和4年4月18日

議事

（1）会員入会の審査について

入会申込書が提出された株式会社バルカーの入会についての審査をした。審査の結果、会社概要・事業実績等に加え、正会員2社からの紹介もあり、全会一致で正会員としての入会を了承した。

入会の承認は、理事会審議案件であるため、5月17日開催の理事会に上程することとした。

（2）その他

「現状のふっ素樹脂製品出荷額統計調査について」及び「今後の会員拡大について」意見交換を行った。

（第2回）令和4年6月20日

議事

（1）ふっ素樹脂製品出荷額統計の調査対象期間の見直しについて

昨年、当工業会が一般社団法人化に併せて、事業期間を1～12月期から4～3月期に変更したところ。このため、ふっ素樹脂製品出荷額統計の調査対象期間について、「1～6月分調査、7～12月分調査」を「4～9月分調査、10～3月分調査」に変更することについて討議を行った。特段の問題点はないことを確認し、了承された。

なお、専務理事から正会員に対し、早急に本趣旨の連絡・周知を行うこととした。

（2）その他

上記（1）に統計調査期間の見直しについては、細則に掲げる会費算定の基礎期間に関わるため、財務委員会での細則見直し検討を申し送りすることとした。

〔業 務 委 員 会〕

1. 技術委員会

令和4年5月11日、8月9日、10月7日、12月21日 令和5年3月2日に開催した。

（第1回）令和4年5月11日WEB会議

議事

(1) 前回議事録の承認

(2) 欧州環境規制情報共有

4/20 F C J主催のウェビナー「PFASの規制化動向について」からの情報制限提案5か国の制限案の欧州化学庁（ECHA）への提出日が2022/7から2023/1に変更された。2023/2～7月頃 制限案に対するパブコメ（6か月間）2024/前半 SEAC案に対するパブコメ（60日間）最短で2026年から制限発効

フッ素樹脂産業団体から出す意見だけでは影響力が小さい。サプライチェーン全体からの意見出しが効果的とのコメントあり。

(3) プラスチック工業連盟関連報告

4/27 2022年度JIS原案作成公募 区分C募集 該当なし

(4) ハンドブック見直し第2ステップ

あらためて、見直しの方向性を以下に確認した

①全般に渡って言い回しの整合性等の校正を行う。全体的に見直すとなると厳しいので、セグメントに分けて見直すこととする。

②外部からの問い合わせ内容をQ&Aとすることを検討する。

③ふっ素樹脂講習会での技術的な講習内容の掲載を検討する。

以上の②、③についてはホームページに掲載する等、電子媒体とするのもよい。

(5) その他協議事項

ホームページへの問い合わせに関する回答案の審議内容は付属書に記載

(第2回) 令和4年8月9日WEB会議

議事

(1) 前回議事録の承認

異論なく承認頂いた。

(2) 委員の交代

(3) 欧州環境規制情報共有

4/20 F C J主催のウェビナー「PFASの規制化動向について」からの情報更新はなし。

(4) H. Pへの問合せ

外部からのH. P. への問合せは無かった。

(5) プラスチック工業連盟関連報告

1) 2022年度TC61関連スケジュールについては、ISO国際会議に関係する代表団会議9/2が中止となり国際会議予定場所であったストックホルム/スウェーデン

ンがWeb会議に変更となった。これに伴い、国際会議報告会11/25も中止となった。

2) JIS定期見直しについては、JIS K6884 四フッ化エチレン樹脂寸法許容(削り加工)に対して修正カ所なしの「確認」にて資料提出を行った。

次回の改定(5年後)までに、時間を掛けて討議を行う。

3) 2022年度JIS原案作成公募 区分D募集については、新規申請無しで報告実施。

(6) ハンドブック改定第2ステップ

改定カ所案について、各委員より意見収集を実施した。

(第3回) 令和4年10月7日WEB会議

議事

(1) 前回議事録の承認

事前メール回覧にて承認。

(2) 欧州環境規制情報共有

特に追加情報などの進捗なし。

(3) H. Pへの問合せ

外部からのH. Pへの問合せは無し。

(4) プラスチック工業連盟関連報告

2022年度TC61関連スケジュールについては、ISO国際会議に係る代表団会議9/2が中止となりストックホルム/スウェーデンにて予定されていた国際会議がWeb会議となった。これに伴い、国際会議報告会11/25も中止となった。

また、TC61/SC9/WG22(当工業会主幹、ふっ素樹脂)がISO/TC61/SC9 Plenary会議(21/9/3)にて現在討議すべき将来プロジェクトが無いとの理由で解散となったため、出席すべき会議がなく欠席した。

(5) JIS規格の改定審議について

・JIS定期見直しについては、JIS K6884 四フッ化エチレン樹脂寸法許容差(削り加工)に対して修正カ所なしの「確認」にて資料提出を行った。

次回の改定(5年後)までに、時間を掛けて討議を行う。

・2022年度JIS原案作成公募区分D募集については、新規申請無しで報告実施。

・9/26 TC61/SC13技術委員会北山委員長の任期3年延長に関して賛成投票を実施。

(6) ハンドブック改定作業

各委員に割り振った修正分担部分について討議を実施した。

(第4回) 令和4年12月21日WebEx会議(ハイブリッド開催)

議事

(1) 前回議事録の承認

事前メール回覧にて承認。

(2) 欧州環境規制情報共有

11/30(水)、12/2(金)、12/5(月)、12/7(水)、
12/8(木) F C J / P F A S ウェビナー開催される。

(3) H. P への問合せ

質問1：P F A の連続使用期間とは？技術資料の有無。

回答1：J I S K 7 2 2 6 にて基本的に20000hとしている。20000時間暴露後の機会的特性（引張強度、引張伸び）が1/2を維持する温度を最高使用温度（260℃）としている。尚、耐億世については、ふっ素樹脂ハンドブック14版の25～26頁を参照願う。

質問2：実際の試験データは各メーカーで取得するのか？ハンドブックや公開資料の有無？

回答2：御使用頂いている樹脂メーカーに確認願う。

対候性については、ふっ素樹脂ハンドブック14版の25～26頁を参照願う。

質問3：20000時間以降の予想曲線について

回答3：御使用頂いている樹脂メーカーに確認願う。

質問4：電気絶縁性について連続使用に関するデータの有無？10年間使用後の性能予測希望

回答4：電気絶縁性については、ふっ素樹脂ハンドブック14版の27～28頁を参照願う。

(4) プラスチック工業連盟関連報告

10/12(水) I S O / T C 6 1 / S C 1 I S O 4 7 2 プラスチック用語に対してのC B I が開始 返信しないことで「賛成」の意思表示として処理。

(5) 特に報告事項なし。

(6) 11/1(火) 仙台にて理事会・政策委員会にて上令和4年度上期事業報告、下期計画が承認される。

(7) ハンドブック改定作業

各委員に割り振った修正分担部分について討議を実施した。

(第5回) 令和5年3月2日W e b E x 会議 (ハイブリッド開催)

議事

(1) 前回議事録の承認

第4回技術委員会議事録は、メール回覧にて承認。

(2) 欧州環境規制情報共有

2/15(水)に、FCJ/PFASウェビナーを前に情報共有のためのWeb打合せが開催される。

(3) H. Pへの問合せ

日本出版制作センター(月刊JETI編集部)より工業会H. P.に原稿執筆依頼のみが到来。

(4) プラスチック工業連盟関連報告

・1/16(月)ISO/TC61/SC9国内委員会(Web)出席。今年度の国際委員会は実地開催予定で、3年連続スウェーデン/ストックホルムが開催地に立候補。

開催日:2023年9月25(月)~29日(金)

・1/27(金)第二回TC61技術委員会は、委任状提出し欠席。

(5) JIS規格の改定審議について

2023年度JIS原案作成公募 区分B募集については、応募せず。

(6) ハンドブック改定作業

各委員に割り振った修正分担部分について討議を実施した。

2. 環境委員会

令和4年5月24日、7月21日、9月21日、11月15日、令和5年1月17日、3月28日に開催した。

(第1回) 令和4年5月24日WEB会議
議事

(1) 前回議事録

参加委員により承認された。

(2) フッ素樹脂のLCCO₂算出

ニチアス様より背景・並びにLCCO₂の算出法等について説明があった。お客様からの問い合わせも徐々に増えていることから、今後の対応方法(JFIAとして対応or 個社で対応)について会員各社にて検討し、次回の環境委員会で議論することとした。

・因みにJFIAとして対応する場合は、LCCO₂算出のためコンサル会社と契約することを視野に入れる。その際は次年度の予算に盛り込むこととなる。

(3) PFOAに関するQ&A

事務局より、PFOAに関するQ&Aを掲載することが提案され、Qの部分が提示された。

・FCJがPFASに関するセミナーを4月に開催し、その際受けたアンケートに答える形で回答集を作成した経緯があり、今回提示された類似のQにはFCJが回答案を作

成することとした。

・フッ素樹脂工業会としての回答が必須の項目についてはフッ素樹脂工業会で準備する。

(4) 担当者交代

日本ピラー工業(株) 三井・ケマーズフロロプロダクツ(株) (株)喜多村

(第2回) 令和4年7月21日WEB会議

議事

(1) 前回議事録

参加委員により承認された。

(2) PFOAに関するQ&A

FCJの回答案について、内容を参加委員で精査。訂正必要箇所は下記のとおり

- ・Per Fluoro Octanoic Acidに誤記訂正
- ・規制開始について、日本はいつからか、欧州はいつからか明記する。
- ・人体影響について、厚生労働省のGHS分類(2015年)をリンクして良いかFCJで確認。

・含有製品について、過去の一般用途例を入れる。

・PFOAはPFASに含まれるという内容を入れる。図でわかりやすくするのも良い。

・排水規制でのQ&Aを追加する。

次回時にQ&Aを初版として完成させ、JFIAから会員企業にPFOA問い合わせ時の共通回答として周知を実施する。

(3) フッ素樹脂のLCCO2算出

ニチアス様よりLCCO2の算出イメージについて説明があった。お客様からの問い合わせも徐々に増えていることから、議論を実施。

・ダイキン様は既にコンサル会社にLCCO2の算出する手順・方法を依頼し、本年度中に国内とグローバルでルール化できるよう進めている。

・ケマーズ様、クレハ様、AGC様も進めており、JFIA向けには前向き協力したい旨の回答。

・個社とは別に、JFIAで原単位となる算出方法やカテゴリールールを作った方が良い。

・LCCO2算出策定には、コンサル会社の協力が必要となるが、契約費用が高額になるので、11月の理事会プレゼンで紹介し、理事会の承認が必要となる。

(4) その他

・カーボンフットプリントについて、個社での取り組みを確認しておく。

・SDGsの17ゴールについて、当工業会が関連する項目を各社で確認し、8月末ま

で提出する（7/21メール分に回答用紙）。

（第3回）令和4年9月21日WEB会議

議事

（1）前回議事録

参加委員により、下記承認された。

- ・PFOA Q&Aについて、排水規制でなく、水質基準値についての記載をすることとする

（2）PFOAのQ&Aに関して

Q&A集の下記修正内容を再度確認後、Q&Aの初版とし、会員向けに公開、参考に回答してもらえようアナウンスをする。

《Q&A集の下記修正内容確認》

- ・PFOAの含有規制については化審法、EUについて規制対象時期を記載
- ・有害性については厚生労働省のGHS分類（2015年）をリンクとした
- ・PFAS規制とフッ素樹脂に関する設問、回答を以下のように変更
⇒「ふっ素樹脂は今後規制されるの？」との設問は削除
⇒変更前：「その定義にもよりますが、PTFEを含むフッ素樹脂もPFASに含まれますので、今後PFASが規制対象となりますとフッ素樹脂が規制される可能性もあります。」

変更後：「その定義にもよりますが、PTFEを含むフッ素樹脂もPFASに含まれます」

- ・設問「フッ素樹脂コーティング品（フライパン等）は本当に安全か？」に対する回答案決定 ⇒食品安全衛生委員会のファクトシートを元に案を作成し、次回以降確認する
回答案概要：「剥がれたものを食しても問題ないこと」「コーティング調理器具等へのPFOA残存の懸念はないこと」を記載する

- ・「コーティングに対して規制を受けるか」対しては「現時点で規制を受けてない」とする
- ・フライパンの安全性については、「人に対する健康影響に対してはフッ素樹脂樹脂自体の経口摂取による健康影響の報告はない」との表現を記載することとする

（3）フッ素樹脂のLCCO2算出

- ・見積もり取得のため業者と交渉（みずほリサーチ&テクノロジーズ、SuMPO、フルハシ）実施。⇒どのような部分を算定するのかを精査すること、依頼も多くすぐの対応は難しいとの回答を受けた

- ・ダイキン殿では事業場全体のScope 1・2を各製品へ振り分ける方法の設定、Scope 3についても影響大小を把握し算出を進めているとのこと

- ・三井・ケマーズ殿ではライフサイクルCO₂としての算出を進めているとのこと。
 - ・見積もり/コンサルを依頼するためにも算出するための境界条件等の設定が必要、本工業会では加工メーカーのScope 1・2を対象として検討を進める方が良いのではないかと
 - ・自動車、情報通信関係ではLCCO₂算出が近いうちに取引条件となっていくとのこと。
- 最初は大雑把な算定で良いが、数年後には詳細なデータを求められるようになると思われる

《決定事項》

- ・本年度は準備段階とし、来年度へ予算計上も含め活動していくこととする
- ・工業会として何の製品を対象として算定を行うかを今後決定し、製品の算定ルールをどのようにするかを今期の活動とする
- ・ふっ素樹脂の成型品・コーティング品についてモデル工程図を作成、概算費用を調査・検討、今後の進め方を決める
- ・対象は加工メーカーとし、今後、算定範囲の決定、ルールや算出を検討していく
- ・樹脂原料部分の排出量原単位等の算出についてはFCJへ問合せを検討する

(4) その他

- ・SDGs とのかかわりについて各社での確認を10月末まで延長、確認予定とする
- ・廃棄物のリサイクル調査について次回委員会で内容確認、依頼案内を実施する
- ・PFAS 関連規制動向については特に追加情報はない。(PFHxA規制の進捗は遅れている様子)

(第4回) 令和4年11月15日WEB会議

議事

(1) 前回議事録

参加委員により、承認された。

(2) PFOA・PFASに関するQ&A集に関して

Q&A集の下記修正内容を再度確認後、Q&Aの第1稿として、会員向けに公開、参考に回答してもらえようアナウンスをする。《Q&A集の下記修正内容確認》

・設問「フッ素樹脂コーティング品（フライパン等）は本当に安全か？」に対する回答案に対して

⇒食品安全委員会 フッ素樹脂ファクトシート平成24年11月19日版および食品安全委員会パーフルオロ化合物ファクトシート 令和2年10月27日版からの抜粋を掲載。PFOA類は現在使用されていない旨の注釈を記載する。《Q&A集配布の鑑の確認》

PFOA・PFAS 関連の問合せに対するQ&A集の配布の鑑は、原案のまま承認された

・PFASの最新動向については、FCJのwebセミナーで最新情報を確認ください。

(3) ふっ素樹脂のLCA

・みずほリサーチ&テクノロジーズ社と株式会社フルハシ環境総合研究所の2社で見積った。

【工業会としてLCAの取組について】

- ・工業会で代表データとするか、個社で算定できるようにするか。
- ・個社で算定する場合、カテゴリルールを工業会で決めて、LACCO2は個社で算出する。
- ・工業会としてはコンサル会社を依頼して定義決めをして算出すると、工業会のHPやIDEAに掲載し、外部への情報提供が可能になるのでは。
- ・LCCO2算定に当たり、IDEAのデータベースのライセンスの取得が別途必要になるが、システムを構築すると他の製品でも使えるので、検討の余地はある
- ・今後の進め方としては、成形品で進める方向とする。

次回までに金額が確定していれば、来年度の予算に入れるように働きかける。

- ・ご意見をメールでお願いいたします。

(4) 日本弗素樹脂工業会とSDGsのかかわり

- ・SDGsと工業会との関わりについて考える必要がある。
- ・塩ビ工業・環境協会の『塩ビとSDGs』の資料を確認した。
- ・工業会のHPに使われているフッ素樹脂の用途例と紐づく形でSDGsとの関りを見られるようにする。
- ・工業会としての側面と製品としての側面の両面があればいいと思う。
- ・工業会としてはSDGsについて考えている、フッ素樹脂が今後も役にたつ、必要不可欠な樹脂であることを来期に向けてアピールしていきたい。
- ・SDGsのかかわりについては、環境委員会から広報委員会へ具体例などの情報を提供するイメージで、具体的な活動については、広報委員長と協議していきたい。
- ・次回会議までに、フッ素樹脂製品(HPの使用用途例にリンク)に対して、少なくとも各社1件以上、SDGsに関わる製品情報と文言を次回までに提出。

(5) 廃棄物アンケート

- ・例年通り廃棄物アンケートを行う。今年度は追加の調査は実施しない。
- ・包装容器については、案内には文言を追記せず、昨年と同様の帳票内のコメントで対応。回収期間は1か月とし、12/16までとする。

(6) その他

(株)バルカーが今回より委員会に参加

(第5回) 令和5年1月17日WEB会議

議事

(1) 前回議事録

参加委員により、承認された。

(2) 廃棄物リサイクル調査に関して

清水専務理事より、事前にメールにて集計結果が共有された。

ニチアス 名取様がHP掲載用の資料を作成し、2月中に環境委員へ送付する。

環境委員で内容を確認したのち、3月中に承認する。

(3) ふっ素樹脂のLCA

・フルハシ環境総合研究所から、アウトプットが見える提案資料を取得した(詳細は提案資料参照)。他工業会での実績、およびSUMPOからの紹介であることから、円滑に算定業務を進められると判断する。

【コメント】

・算定は原料(scope 3)を含めた算定範囲とするが、原料のウェイトが大きいことが想定されるため、成型加工のscope 1, 2と切り分けて扱えるようにする。

・出荷を含めるか、また含める場合の提供データ内容については別途協議が必要。

・PCR策定が見積に含まれていないが、必ずしも依頼しなくても良い。

PCR策定を含めると見積がどうなるか確認する。

・予算も加味すると2製品(480万円)を一度にやるより、2年に分けたほうが良い。

2023年度は成形品、2024年度はコーティング品とする。

・ふっ素樹脂原料について樹脂メーカーからLCCO2排出量データの提供はせず、IDEAの原単位を用いる。

・下記内容で政策委員会へ予算答申を行う(次回まで、戸塚委員長)

【提案内容】

・2023年度は成形品のLCA算定をフルハシ環境総研に依頼する。

・コーティング品については成形品の実績を基に進め方を協議し、2024年に検討する。

・LCA算定結果の使われ方等を想定し、型押しシート、国内生産とする。

・LCA算定に参加したい企業は、1/20(金)までに戸塚委員長へ連絡する。

(4) 日本弗素樹脂工業会とSDGsのかかわり

・工業会から環境委員会に対し、ふっ素樹脂の有用性、重要性が伝わるようなアウトプットを求められている。

・小グループでアイデアや方向性を検討したのち、環境委員会で討議する。

【参加】

- ・中興化成工業 浜渦様、バルカー 稲留様、日本ピラー工業 井上様
- ・塩ビ工業・環境協会の規制対応の取り組みについてヒアリングを行う。

(5) PFAS規制の動向について

- ・1/13にPFASの制限提案がECHAに提出された。2/7公開、3/22パブコメ開始予定。
- ・制限案が公開されたら、AGC 大西様より環境委員にご連絡いただく。
- ・FCJでは3月末～4月頭にウェビナーを開催予定。
- ・工業会としてパブコメを提出することを考えており、PFAS協議会を通してFCJとコンタクトを取る。

(6) 来年度の活動計画

- ・令和5年度活動計画（案）参照
 - ・今年度のPFOA Q&Aと同様に、PFAS等に対する会員企業向けQ&Aを作成する。
- PFASに関してよくある質問があれば1/20（金）までに戸塚委員長へ連絡する。

(第6回) 令和5年3月28日WEB会議

議事

(1) 前回議事録

参加委員により、承認された。

(2) PFAS関連の情報共有

①欧州PFAS規制案

- ・3/7 FCJより情報を共有してもらい、関係団体へのパブコメ依頼を工業会として実施することを決定した。
- ・3/10経産省訪問。パブコメが重要であり工業会としてしっかり対応してほしいとのコメントがあった。
- ・3/17工業会会員向けのweb会議開催。

現在、顧客向けパブコメ提出依頼の案内資料を作成中。また工業会として関係団体にコンタクトをとる予定。現在リストを作成中。

②環境省「PFASに対する総合戦略検討専門家会議」について

- ・PFASの一つであるPFOSやPFOAについて科学的根拠に基づく総合的な対応（目標値や基準値）を検討し、国民への分かりやすい情報発信をすることを目的としている。
- ・この会議で議論されているPFASは、PFOS、PFOA、PFHXS等の低分子量

P F A Sである。また、P F O S、P F O Aに関しても、どこまでの物質を対象とするか明確にされていない。

- ・ふっ素ゴムやふっ素樹脂を含む欧州P F A S規制のP F A Sとは定義が異なる。

③その他

- ・3/14 E P Aが飲料水基準値公表。
- ・4/5 E C H Aによるパブコメに対するガイダンスが実施される予定

(3) 廃棄物リサイクル調査に関して

- ・戸塚委員長より、「令和3年度ふっ素樹脂廃棄物/リサイクル調査報告書(案)」が示され、参加委員により承認された。3月末に配布予定。
- ・リサイクル率が年々わずかに減少しているが、P F A S規制に対しリサイクル率をあげていきアピールすることが重要である。

(4) ふっ素樹脂のL C A

- ・今年度は成形品について実施し、L C A算定に参加する企業は、中興化成、日本ピラー、淀川ヒューテック、ニチアスの4社。
- ・フルハシ環境総合研究所から、改めて提案資料と見積もり(240万)を取得した。
- ・収集データについては、原材料の年間使用量～廃棄物の年間発生量までは必須で、算定範囲が工場までならば製品出荷に関しては不要(詳細は提案資料参照)。
- ・P C R策定については、フルハシで実施すると高額になるため、支援は行うため工業会で作った方がいいと提案があった。
- ・スケジュールとしては、4～5月に発注→製造工場を見学→データ収集→9月末までに報告書提出を予定。
- ・フルハシが実施する工場見学を受け入れることができる会社は、戸塚委員長に連絡する(4月第一週まで)。
- ・政策委員長から許可が下りれば、次回委員会にてL C Aについて説明会をお願いする予定。

(5) ふっ素樹脂P Rのための広報活動

①P F A S制限案

- ・HPにはP F A S制限案に関して案内が出ていないため、P F A S連絡会において見解等の掲載を検討する。

②ふっ素樹脂のQ & A (P F A Sに対するQ & A)

- ・工業会としてHPへ掲載する内容については、プラスチックヨーロッパのQ & Aを参考に、広報担当で決める。
- ・プラスチックヨーロッパのふっ素樹脂に関する根拠のない噂と真実の資料の工業会HPへの転載許可の問い合わせについて、戸塚委員長がF C J松岡主査に確認する。

- ・工業会HPの新着情報にパプコメが開始されていることを掲載する。案は戸塚委員長が作成しPFAS連絡会へ送る。

- ・ふっ素樹脂のQ&Aとネガティブキャンペーンに対する内容は、広報担当で作成する。

③ふっ素樹脂とSDGs

- ・濱渦委員作成の資料を原案として、広報担当で発展させHPに掲載を検討する。

- ・将来的には、工業会各社の産廃削減やCO2排出削減の集計を掲載することも検討する。

(6) その他

①PFAS制限案等の資料の共有について

- ・FCJから提供していただいた制限案の和訳、資料、原本等を、PFAS連絡会と環境委員会で共有することとなった。

- ・清水専務理事より、共有サービスとして大塚商会のどこでもキャビネットが提案され承認された。

②委員の交代

三井・ケマーズフロロプロダクツ(株)

3. 広報委員会

令和4年9月7日、9月28日、令和5年2月7日、2月27日に開催した。

(第1回) 令和4年9月7日

1. 議事

第89回開催のふっ素樹脂講習会について、テーマについて検討。

いくつかのテーマを候補として挙げ、各委員から関係する企業等へアプローチすることとし、その結果を次回委員会に報告することとした。

また、今後のスケジュール等について情報共有した。

(第2回) 令和4年9月28日

1. 議事

第89回開催のふっ素樹脂講習会について、テーマについて検討。

各委員から、可能性のあるテーマの関係先との調整状況について報告あり。

ただし、依然テーマ確定まで調整が進まず、引き続き交渉を継続することとし、後日、委員長から結果を周知することとした。

また、今後の講習会実施に向けてのスケジュール等について情報共有した。

(第3回) 令和5年2月7日

1. 議事

第89回開催のふっ素樹脂講習会について、テーマについて検討。

各委員から、可能性のあるテーマの関係先との調整状況について報告あり。

ただし、依然テーマ確定まで調整が進まず、引き続き交渉を継続することとし、後日、委員長から結果を周知することとした。

また、今後の講習会実施に向けてのスケジュール等について情報共有した。

(第4回) 令和5年2月27日

1. 議事

第89回開催のふっ素樹脂講習会について、テーマについて検討。

各委員から、可能性のあるテーマの関係先との調整状況について報告あり。

ただし、依然テーマ確定まで調整が進まず、引き続き交渉を継続することとし、後日、委員長から結果を周知することとした。

また、今後の講習会実施に向けてのスケジュール等について情報共有した。

第88回ふっ素樹脂講習会開催概要

開催日時：令和4年7月1日～7月29日

開催方式：動画配信

「プログラム」

① ふっ素樹脂の基礎と応用

三井・ケマーズフロプロダクツ(株)

北川 仁美 氏

② ふっ素樹脂の市場動向

AGC(株)

谷辺 倫則 氏

③ プラズマ処理を基盤としたふっ素樹脂の表面制御

大阪大学

大久保 雄司 氏

④ 欧米におけるPFASの最新規制動向

日本フロロケミカルプロダクト協議会

(AGC(株))

岡田 伸治 氏

⑤ カーボンニュートラルへの挑戦

ダイキン工業(株)

吹田 延夫 氏

第89回ふっ素樹脂講習会開催概要

開催日時：令和4年12月2日～12月27日

開催方式：動画配信

「プログラム」

- ① ふっ素樹脂の基礎と応用
ダイキン工業(株) 稲葉 剛志 氏
- ② ふっ素樹脂の市場動向
三井・ケマーズフロプロダクツ(株) 神森 俊邦 氏
- ③ コーティング用ふっ素樹脂について
A G C (株) 大継 聡 氏
- ④ デジタル技術の活用によるマテリアル産業競争力強化に向けて
大里 武 氏
- ⑤ P F A S 分析の概要と注意点（測定対象：水試料と製品）
一般社団法人 三重県環境保全事業団 古川 浩司 氏
- ⑥ 「需要増が続く半導体」～市場動向と今後の展望～
産業タイムス社 電子デバイス産業新聞 津村 明宏 氏

4. コーティング委員会

令和4年7月13日、令和5年2月15日に開催した。

(第1回) 令和4年7月13日

議事

5月の理事会において、コーティング委員長の交代が承認され、今回の委員会から後閑前委員長から鈴木新委員長に交代となった。

委員長交代を受けて、当委員会における令和4年度活動計画及び懸案事項等についてすり合わせを行った。

また、J I Sの見直しについてプラ工連からの事前調査への対応等意見交換等を行った。

(第2回) 令和5年2月15日

議事

(1) P F A S 関連の規制について

それぞれの規制に対し、下記のように現況を共有した。

① 9-14 P F C A

塗料関係への影響は「なし」とされている。

② P F H x A

塗料影響への有無に関しては今後の続報を待つ必要がある。

③ P F A S

2023年2月7日付けでECHAにて公表された5カ国制限提案書について、公表後期間が短く、精読に至らない中、主に工業会より回付の参考和訳から各々読み取ったコー

ティングに関係する内容を抽出し共有するとともに、今後の対応などについて下記のような協議を行った。

【カラム 1 から】

・当委員会各社がふっ素樹脂コーティングに用いるようなふっ素樹脂はP V Fを除き規制対象の模様。

〈例〉定義範囲内：P T F E、P F A、F E P、E T F E、E C T F E、P C T F E、
など

定義範囲外：P V F

【カラム 2 から】

・食品関係は接触用途の括りで5年間の適用除外。

ただしベイク目的の非粘着コーティングだけは、意見募集後に再協議とある。

↳「ベイク目的の非粘着コーティング」および「その他の用途のコーティング」との記載もあることに留意が必要。

再協議でR O 2 の適用除外を得るにはどんな意見提出が効果的なのか。

E U 現地には天板などを加工する大規模コーターも存在しており、自然に考えれば、意見の提出もあるだろう。

意見提出は多いほど良いとされており、当委員会としても関わり方を含め、対応を図りたい。

・半導体製造プロセス全般では再協議を要する12年の適用除外とある。

・医療も一部用途で再協議が必要だが、12年の適用除外とある。

・再協議含みで一部安全に絡めた輸送車両で12年の適用除外とある。

・石油産業や鉱業で12年の適用除外。石油化学工業に関する記述は見受けられない。

・全廃までの適用除外期間は最長でも12年(+1.5年)とした内容。

5年、12年のそれぞれの適用除外は、満期で規制内容を見直すものであり、必ずしも満期の時点ですぐさま規制が開始するものではないのでは、と指摘があった。

・前回のF C J ウェビナーの時点では3月に制限案を受けたウェビナー開催を予定している。

・F C J にてP F A S 連絡会へ、一般ウェビナーに先立ち事前説明会が予定されており、コーティング委員長も招集対象となっている。

・上記疑問他、不明な点については、F C J 事前説明会で確認する。

・会員各社へのユーザーからの問い合わせの現況としては、具体的なエッセンシャルユースへの協力要請はなく、P F O A 時と同じような「P F A S が含まれているか」程度の問い合わせ内容にとどまっている。問い合わせの件数は増加傾向。

・サプライチェーンにおけるふっ素樹脂コーター団体としての共有指針を以て対応したい。

- ・ふっ素樹脂成型品と同類の用途で使用されるケースなど、連帯して動けるものを早期に明確にしたうえで、コーティング特有の用途の特定を急ぎ、対応へつなげたい。
- ・工業会としては売上に準じた優先順位をベースとしている。コーティング側からの要望も定量的なデータに裏付けられていることが望ましい。

(2) 外部からの問い合わせ

問い合わせの中下記、ホイル焼きに関するものがあり、今後の回答内容を統一するため共有した。

- ・「ホイル焼きについて、やってよいのかの確認」@NHKアサイチ

取り扱いマニュアルの第3章参照。ホイル焼きの記述はないので、追記するなら、空焚きにならない様、必ず水や油をひいて、中火以下を維持、などがよいのでは。

議事録に残し、必要に応じて再協議。

(3) 来年度について

- ・会合の内容を鑑み、PFAS規制への対応に注力する。
- ・来年度計画については、FCJの説明会后、正確な情報を基にPFAS対応含む再協議を行う。

令和4年度 主要会議等スケジュール(実績)

会議等名	日時		会場	摘要
財務委員会	令和4年5月9日(月)	11:00～12:00	工業会・会議室	
会計監査	令和4年5月9日(月)	13:00～14:00	同上	
政策委員会	令和4年5月17日(火)	13:30～14:30	如水会館	
理事会	令和4年5月17日(火)	13:30～14:30	同上	
定時社員総会	令和4年6月8日(水)	11:00～12:00	同上	
定時社員総会後の昼食会	令和4年6月8日(水)	12:00～12:45	同上	
JFIA親睦ゴルフ会	令和4年6月9日(木)		磯子CC	
臨時理事会	令和4年7月13日(水)		(書面審議)	新型コロナ禍の対応により、書面審議とした。
臨時社員総会	令和4年7月28日(木)		(書面審議)	同上
第88回ふっ素樹脂講習会	令和4年7月1日 ～7月29日		WEB 動画配信	新型コロナ禍の対応により、WEB動画配信により実施 91名参加
財務委員会	令和4年10月11日(火)	14:00～15:00	工業会・会議室	
政策委員会	令和4年11月1日(火)	13:30～15:00	ホテルモントレ仙台	
理事会	令和4年11月1日(火)	13:30～15:00	同上	
JFIA親睦ゴルフ会	令和4年11月2日(水)		表蔵王国際GC	
第89回ふっ素樹脂講習会	令和4年12月2日 ～12月27日		WEB動画配信	新型コロナ禍の対応により、WEB動画配信により実施 111名参加
賀詞交歓会	令和5年1月11日(水)	11:00～12:30	如水会館	

6. ふっ素樹脂統計

ふっ素樹脂生産、出荷、在庫統計

項目 年月	生産		出荷			在庫	
	数量 (ト)	前年(同月)比 (%)	数量 (ト)	前年(同月) (%)	金額 (100万円)	数量 (ト)	前年(同月)比 (%)
平成18年	27,779	107.8	27,389	111.9	69,172	5,148	103.9
平成19年	28,498	102.6	27,146	99.1	68,230	6,478	125.8
平成20年	29,276	102.7	28,267	104.1	68,127	7,173	110.7
平成21年	14,687	50.2	16,817	59.5	37,217	4,244	59.2
平成22年	28,173	191.8	27,430	163.1	63,762	4,255	100.3
平成23年	29,046	103.1	27,856	101.6	68,872	5,542	130.2
平成24年	27,233	93.8	25,463	91.4	61,690	6,417	115.8
平成25年	25,234	92.7	26,240	103.1	66,597	5,233	81.5
平成26年	29,201	115.7	28,102	107.1	73,060	5,047	96.4
平成27年	27,610	94.6	26,552	94.5	72,704	4,934	97.8
平成28年	28,374	102.8	27,648	104.1	73,708	4,653	94.3
平成29年	30,151	106.3	29,363	106.2	81,508	5,300	113.9
平成30年	30,886	102.4	32,082	109.3	93,781	4,817	90.9
令和元年	31,912	103.3	29,702	92.9	86,979	5,870	121.9
令和2年	25,066	78.5	24,696	83.1	73,770	5,159	87.9
令和3年	33,032	131.8	30,714	124.4	96,413	4,492	87.1
令和4年 1月	3,370	126.5	2,611	115.2	9,199	5,030	91.6
2月	3,124	132.4	2,718	116.2	10,027	4,949	92.3
3月	3,485	140.9	2,774	109.5	10,284	5,153	99.7
4月	2,823	128.2	2,386	99.7	9,852	5,159	113.7
5月	3,125	104.9	2,683	99.1	10,426	5,484	116.4
6月	2,034	70.6	2,755	93.3	10,403	5,031	115.3
7月	3,102	101.6	2,529	88.5	9,552	5,429	125.7
8月	3,880	114.3	2,718	107.7	11,115	5,964	122.1
9月	3,622	116.8	2,761	103.6	11,123	6,466	129.1
10月	2,896	137.4	3,190	112.6	12,682	5,817	142.8
11月	3,018	109.3	2,767	124.9	11,646	5,570	127.5
12月	3,373	110.4	2,873	118.6	10,769	6,425	143.0
令和4年 計	37,852	114.6	32,765	106.7	127,118	6,425	143.0
令和5年 1月	3,513	104.2	2,712	103.9	11,080	6,697	133.1
2月	2,865	91.7	3,010	110.7	11,333	6,509	131.5

出典：経済産業省・生産動態統計

ふっ素樹脂製品出荷額統計

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）

（報告社数：22社、単位：千円）

需要部門 品目	各種機械製造業										その他 業種 ・不詳	合計	構成比	前年比
	電気機械器具 (内、半導体関連)		輸送 機械器具	精密 機械器具	一般 機械器具	化学、金属 製品製造業	その他 製造業	電気、ガス 水道業	輸出	その他				
板	1,705,918	(1,423,151)	19,285	35,561	385,312	129,158	1,238,033	125	81,359	1,935,091	5,529,842	3.4%	113.1%	
パイプ・チューブ	10,963,224	(10,358,049)	1,825,651	7,177,903	517,528	353,301	176,513	23,040	3,463,199	1,574,171	26,074,530	16.2%	128.6%	
棒	1,656,794	(1,205,741)	2,028	38,441	305,132	63,100	820,322	31	77,448	1,275,662	4,238,958	2.6%	121.7%	
その他素材	1,314,196	(1,297,071)	111,877	97,934	219,839	113,093	364,681	1,918	7,673	1,514,806	3,746,017	2.3%	228.8%	
テープ	348,235	(111,818)	422,256	101,604	225,202	220,602	198,182	20,454	669,105	694,449	2,900,089	1.8%	140.2%	
生テープ	47,192	(287)	139	13	3,299	10,357	63	318,067	968	73,632	453,730	0.3%	111.5%	
樹脂含浸製品	193,916	(314)	174,746	292,747	922,530	53,189	710,737	0	631,000	396,835	3,375,700	2.1%	106.2%	
コーティング	4,153,592	(3,525,683)	646,052	318,919	1,864,040	2,056,030	1,122,218	0	254,202	900,474	11,315,527	7.0%	112.8%	
ライニング	1,988,282	(1,632,360)	250,166	24,032	842,565	3,496,686	86,808	13,740	125,810	1,012,267	7,840,356	4.9%	178.5%	
加工品 A	26,196,744	(22,792,757)	2,773,945	1,832,125	4,332,173	1,101,255	1,106,351	43,838	5,098,858	1,492,739	43,978,028	27.4%	142.7%	
加工品 B	10,147,968	(8,148,493)	6,758,983	1,410,558	1,857,626	221,083	110,996	28,519	1,160,867	420,597	22,117,197	13.8%	133.3%	
加工品 C	16,541,156	(16,329,207)	2,155,094	1,039,027	827,762	2,116,734	655,052	356,304	218,950	5,084,896	28,994,975	18.1%	129.3%	
合計	75,258,631	(66,824,931)	15,140,222	12,375,980	12,305,865	9,934,588	6,589,956	806,036	11,789,439	16,379,362	160,580,079	100.0%	133.6%	
構成比	46.9%	(41.6%)	9.4%	7.7%	7.7%	6.2%	4.1%	0.5%	7.3%	10.2%	100.0%			
前年比	140.7%	(142.1%)	118.2%	142.7%	131.5%	150.7%	118.5%	128.6%	121.3%	122.4%	133.6%			

- (注) 1. 上記の出荷額は、現正会員22社分の合計額である。
 2. 需要部門の（半導体関連）は、電気機械器具の内数となっている。
 3. 構成比の単位未満は、四捨五入しているので計と内訳が一致しない場合がある。
 4. 加工品 A：加工品であって、ふっ素樹脂100%のものをいう。
 加工品 B：加工品であって、ふっ素樹脂の金額が50%以上を占めると思われるもの。
 加工品 C：加工品であって、ふっ素樹脂の金額が50%未満の複合品をいう。
 5. 前年比は令和3年1～12月対比。

7. 令和5年度事業計画

本工業会は、ふっ素樹脂業界の共通問題の討議及び政府のその他の機関との折衝と、ふっ素樹脂製品の生産向上及び諸産業への応用の推進、利用の促進を図ることにより、ふっ素樹脂産業の総合的な進展と国民経済の繁栄に寄与するとともに、会員の発展、繁栄と会員相互の協調、親睦を図ることを目的として工業会の活動を行う。

〔委員会施策の推進〕

1. 関係官庁とのコミュニケーションの強化
2. 会員の増強
3. 情報収集の強化及び提供
4. 調査統計資料の整備、充実
5. ホームページ、パンフレットによる各種情報提供の充実
6. ふっ素樹脂講習会の充実
7. 標準化の推進（ISO, JIS）
8. 環境及び産業衛生対策の推進
9. その他の事業

〔業務委員会の活動計画〕

1. 技術委員会

- (1) 日本プラスチック工業連盟(TC61/SC9)と ISO 規格の審議
 - ・ 都度審議
- (2) JIS 規格の改定審議
 - ・ 都度審議
- (3) ハンドブックの改定
 - ・ ハンドブック全編にわたっての改定作業を継続。
- (4) Q&A の対応（外部からの質疑）
技術課題をその都度対応する。
- (5) 日本弗素樹脂工業会の懸案事項対応（工業会として）
欧州環境規制 PFAS パブコメ対応、等

2. 環境委員会

- (1) 廃棄物リサイクルアンケートを継続実施するとともに、リサイクル率減少の要因を調査する。
- (2) ふっ素樹脂成型品の LCCO2（ライフサイクル CO2）の算出や集計
昨今の脱炭素化の動きより、当業界でも顧客より原料採掘～製品製造時までの CO2 排出量

の提出を要求される可能性がでてきたため、ふっ素樹脂成型品について外部事業者に委託して、LCC02 の算出を実施する。

(3) ふっ素樹脂の健全性をアピールする資料作成と HP 開示

欧州 PFAS 制限は、すでに規制化された PFOS、PFOA、現在規制が検討されている低分子量 PFAS とふっ素樹脂を一括りにし規制化を検討しているため、ふっ素樹脂も健康・環境への懸念物質と誤解される可能性がある。そのため、誤解されないように、ふっ素樹脂の健全性・有用性をアピールする資料を作成し、HP 上で公開する。

(4) その他

PFHxA、PFAS 規制化状況・国内規制（食品衛生法・労働安全衛生法等）の情報展開
ホームページ掲載内容の確認

3. 広報委員会

(1) ふっ素樹脂講習会開催に向けての活動

6月16日 ダイキン工業㈱において第90回講習会の配信動画を収録

7月 第90回ふっ素樹脂講習会をWEB配信で開催

8月～ 12月に開催の第91回ふっ素樹脂講習会の内容検討

(2) ふっ素樹脂 NEWS の発行

(3) 工業会ホームページの内容更新

4. コーティング委員会

(1) PFAS 規制案対応

(2) 環境放出、廃棄に関する情報共有

(3) ふっ素樹脂コーティングに関する問合せ対応

(4) その他

・工業会活動やその他国内外の規制動向などの情報共有

8. 令和6年度（4～6月）暫定事業計画

1. 定時社員総会の開催（令和6年6月11日）
2. 理事会・政策委員会の開催（令和6年5月14日）
3. 「ふっ素樹脂 NEWS」の編集・発行
4. 会務・業務委員会の開催
5. その他の事業

令和5年度 主要会議等スケジュール（予定）

会議等名	日	時	会場
財務委員会	令和5年5月8日(月)	11:00～12:00	工業会・会議室
会計監査	令和5年5月8日(月)	13:00～14:00	工業会・会議室
政策委員会	令和5年5月16日(火)	13:00～14:30	如水会館
理事会	令和5年5月16日(火)	13:00～14:30	如水会館
定時社員総会	令和5年6月7日(水)	11:00～12:00	如水会館
定時社員総会後懇親会	令和5年6月7日(水)	12:00～13:00	如水会館
JFIA親睦ゴルフ会	令和5年6月8日(木)		多摩CC

会議等名	日	時	会場
財務委員会	令和6年5月 日(月)	11:00～12:00	工業会・会議室
会計監査	令和6年5月 日(月)	13:00～14:00	〃
政策委員会	令和6年5月14日(火)	13:00～14:30	如水会館
理事会	令和6年5月14日(火)	13:00～14:30	〃
定時社員総会	令和6年6月11日(火)	11:00～12:00	如水会館
総会後の懇親会	令和6年6月11日(火)	12:00～13:00	〃
JFIA親睦ゴルフ会	令和6年6月12日(水)	未定	未定

第90回ふっ素樹脂講習会	令和5年7月		動画配信
財務委員会	令和5年10月23日(月)	14:00～16:00	工業会・会議室
政策委員会	令和5年11月7日(火)	未定	未定(地方会場)
理事会	令和5年11月7日(火)	未定	
理事会後の懇親会	令和5年11月7日(火)	未定	
JFIA親睦ゴルフ会	令和5年11月8日(水)	未定	
第91回ふっ素樹脂講習会	令和5年12月		動画配信
賀詞交歓会	令和6年1月11日(木)	11:00～12:15	如水会館

第92回ふっ素樹脂講習会	令和6年7月		未定
財務委員会	令和6年10月	未定	工業会・会議室
政策委員会	令和6年11月	未定	未定(地方会場)
理事会	令和6年11月	未定	
理事会後の懇親会	令和6年11月	未定	
JFIA親睦ゴルフ会	令和6年11月	未定	
第93回ふっ素樹脂講習会	令和6年12月		未定
賀詞交歓会	令和7年1月	11:00～12:15	如水会館

